

令和7年度第1回富谷市介護保険運営委員会 会議録

～ 委員会概要 ～

日 時 令和7年7月4日（金） 午後2時00分～午後3時6分

場 所 富谷市役所3階 305会議室

出席委員（14名） 那須 正行、笠原 純子、江角 伸吾、渡邊 裕志、吉村 恵理、
土井 孝博、田中 しなの、斎藤 翔、門間 とも子、鈴木 郁子、
永野 憲子、佐藤 恵子、相澤 富子、菅原 義則

欠席委員（3名） 志水 田鶴子、中谷 良子、増田 恵美子

会議に参加したる者 副市長 武内 浩行

事務局出席者（9名）

○保健福祉部 部長 高橋 加代、次長 関谷 奈保子、長寿福祉課長 横田 善和、
同課長補佐 亀 莊一郎、同主幹 岡 宣之、
保健福祉総合支援センター所長 大谷 江里子、同副所長 伊東 大助、
同技術主幹 高橋 侑美

○市民生活部 税務課長 西山 高広

志水委員、中谷委員、増田委員3名の欠席となっているが、過半数の出席により、
委員会規則第4条の規定により委員会開催を確認。

午後2時00分

< 開会 > 司会進行 長寿福祉課長補佐

< あいさつ > 富谷市介護保険運営委員会 委員長 那須 正行

< あいさつ > 富谷市 副市長 武内 浩行（副市長あいさつ後、公務により退席）

（亀補佐） なお、今後の議事進行につきましては、委員会規則第4条の規定に基づき、委員長
が議長となり進行することとなっておりますので、移動いただき進行をお願い致します。

（那須委員長） 議事を進行するにあたり、委員の皆様の活発なご意見を期待いたしますと
ともに、議事進行につきましてご協力をお願いいたします。

それでは早速ですが、審議にはいります。

はじめに、（1）令和6年度介護給付実績等について、事務局からご説明を
お願いします。

(岡主幹) < 資料 1 令和 6 年度 介護給付実績等について >

(那須委員長) ありがとうございます。ただいまの事務局の説明について委員からご意見、ご質問はありませんか。

(菅原委員) 資料 1 3 ページ、施設サービスのところなんですが、③介護医療院④介護療養型医療施設、これの資料の方に実績出ててるんですが、多分 6 年度から始まったと思うんですけども、施設のお名前はちょっとわからないですから、どこの施設になるかちょっとお聞きしたいと思います。

(岡主幹) この市内の施設の一覧の中でということよろしいですか。

(菅原委員) はい

(岡主幹) 施設サービスのところなんですけれども、療養型施設ということで、富谷市の中には医療施設サービスはございませんでして、実際近いところだと、松島とかですね、そちらの方に介護医療院の施設がございまして、実際、富谷の被保険者の方がそちらの施設を利用しているというところになりますので、市内の方にはこちらの一覧ではないということでございます。

(菅原委員) わかりました、市内には確か無かったはずだなと思いました、そういうことですね、はい、わかりました。

(那須委員長) そのほか何かございましたらお願いします。

(那須委員長) それでは次の審議事項、(2) 介護保険料調定額、収納額及び収納率状況について、事務局からご説明をお願いします。

(西山課長) < 資料 2 令和 6 年度介護保険料調定額、収納額及び収納率状況について >

(那須委員長) ただいまの事務局の説明について委員からご意見、ご質問はありませんか。

(永野委員) いつもこの表を見る限り、いつも同じ意見させていただいてると思うんですけども、令和5年度6年度に比べまして、徴収率問題があがっていて特別徴収は年金天引きになるんで確実に100%なんですけれども、普通徴収っていうのは、自営とかそういう感じの通知が来て、自分で払うっていうやり方だと思うんですけども、こちらの方も去年に比べて大分徴収率は上がっていて、滞納分を30%の回収できたけれども、70%は徴収できていなかったということで、いろいろあって、収納額、算出されまして収納率が算出されまして、それで未収納額、そして不納欠損額っていうのは何か今お話しありましたように、財産調査した結果、不納欠損額ということで、何か、2年間、そういうことがあると、これがもうなくなり、もう調整した結果、徴収の見込みがないっていうことで、徴収を諦めるっていうものだと思うんですけども、こちらの方、去年と比べて大分上がっていて、多分皆さん、いろいろなことを頭、うん、練っていろいろなことを調査して、徴収し、また諦めるっていう決断なので、とてもご苦労なされたことだと思います。

また今後、徴収できなかったということをそのままにせずにちゃんと調査して、徴収すべきものは徴収をして、生活保護は多分この中には入ってないですか。

(西山課長) はい。

(永野委員) はい。と思いますので生活保護に入っていない方の分を、財産調査した結果、調査できなかったっていうのは、若干ちょっと腑に落ちない部分あるのですけれども、私もちょっと詳しくないのでわからないんですけども、こちらの方も苦労していろいろ徴収してくださってるなあと思ってありがたく思っております。

(那須委員長) ありがとうございます、そのほか。

次の審議、(3)令和6年度高齢者保健福祉事業等実績及び令和7年度事業計画について、事務局からご説明をお願いします。

(伊東副所長) < 資料3 令和6年度高齢者保健福祉事業等実績及び令和7年度事業計画について >

(那須委員長) ありがとうございました。ただいまの事務局の説明について委員からご意見、ご質問はありませんか。

(斎藤委員) 福祉健康センターの斎藤と申します、よろしくお願いします。

まず、1 ページ目のところの、以前もちょっとお話したことがある、ゆとりすとクラブ・サロン数の評価の部分だったんですけれども、数値が23、目標指数が25というところで、数値上で見ると達成というところではあると思うんですけれども、新規設置には至らずというところで、ここの数値だけで評価して二重マルの達成できたという型での評価というところが、いいものなのかどうなのかというところが一つありますので、ちょっとそちらについてお伺いしたかったのが一点。

二点目が、2 ページ目7番の筋トレ型のところで、昨年度ケアオフィスさんのサテライトで新しくこう広げてくるというお話をいただいたところで、今年度のところが、指定事業所の拡大というところで、今現状ちょっと受け入れ先等のところがこう広がりそうであるかどうかという現状のところを教えていただきたいというところが、もう一点です。

あと、4 ページ目の2番の緊急通報システム事業の地域利用者数ということで、ここ数字あげていただいているんですけど、ちょっと先日私の近所でもちょうど夜中に、緊急通報の方がいて、救急車が来て私もちょっと見に行ったら、サポーターの方が見えられてというような対応をされてたところをちょっとお伺いする機会があったので、ここの部分で実際登録者数が8名ということなんですけれども、現に年間で、どのくらい利用というところが行われてるかっていうところがもし分かれば教えていただきたいというところが一点になります。

あと、最後の5 ページ目のところで、17番の終活テーマにした研修講座等の開催というところで、こちら6年度の部分の実施で、12月に実施してるというところでの記載にはなっていたんですけれども、数値が横棒になってたので、ここは1回とかなのかなと思ってもこの数字のところの確認というところで、よろしくお願いします。

(大谷所長) はい、保健福祉総合支援センター所長の大谷です。

ご質問ありがとうございます。まず一点目のゆとりすとの評価に関してですがおっしゃいますように、23ヶ所というところで、目標指数には届いておらないのですが、達成率の方で今回の評価をさせていただいたところでございます。

市としましては引き続き、目標に向けて、様々な形で啓発の方図っていくというところと、既存のクラブサロンの方の支援についても引き続き、代表者会などを通して実施のほう図っていくこととしております。

筋トレサービスに関しましては、お話しがありましたように、2 ページ目の⑦ですね、ケアオフィスの方に事業所拡大、せせらぎの里を会場とさせていただいて、

そちらの圏域の方の受け入れというところで、サテライトの型をとらせていただいております。ここ週に1回という開催になっておりましたので事業所の拡大といえますか、そこも視野に入れてですね週に2回実施する体制を今後どうしていくかというところで検討を図っているところでございます。今のところ、週に1回、人数を伸ばしていくというところで、上半期は考えているところでございます。

あとは緊急通報システム、4ページ②の緊急通報システム事業の方でございしますが、利用者の実数としましては65名でございます。新規の方は8名で、廃止の方も8名ほどいらっしゃったというところでございます。特にここ1、2年で大幅な伸び等はございません。

最後、終活をテーマにした研修会と講座を開催というところで、確かにそうですねここ1回と伝えるべきところだったかなというところでございます。あとは包括の方でも、去年2回実施したかもしれない。合わせて3回実施したところございましたので、ちょっと評価の方、訂正させていただきたいと思います。

以上となります。

(那須委員長) はい、ありがとうございます。

終活をテーマの開催数3回ということでね、評価のほうは二重マルですか、このままでよろしいですかね。

(大谷所長) はい。75%かと思しますので、丸のままかもしれません。申し訳ございません。

(斎藤委員) はい、ありがとうございます。

(那須委員長) その他、はい。

(菅原委員) ちょっと細かくてすいませんが、資料の2ページですね、6番目の高齢者の6年度の貯筋講座って書いてあるんですが、7年度の事業計画は貯金講座、きんの字が違う。

(大谷所長) はい、恐れ入ります。これは筋肉を蓄えるというところで、7年度の表記が誤っております、6年度の貯筋講座のままの、はい、ごめんなさい、筋肉を蓄えるというところでございます、はい、失礼いたしました。

(菅原委員) それから4ページですね、基本方針3のところ、1番の虹いろ会食の事業者参加者、令和6年度の実績が96人で、目標は90人、ちょっと少なくなってきたんですが、どういうことですか。

(大谷所長) これは介護保険事業計画目標としていた実数が90人であったのですが、もうそれをちょっと上回る数字の方になっているというところでございます。

(菅原委員) 90人ですね。

(大谷所長) こちら目標指数になっているところでしたので。

(菅原委員) 下回るということですか。

(大谷所長) 目標指数を実数が上回っているということになります。目標指数が計画だと90名になっていたところだったのですが、当初の想定を上回ってお申し込みとご利用いただいているということになります。

この計画値ですね、90人というふうになっていたかと思うんですが、それを上回る実績になっているというところでございます。

(菅原委員) そうすると逆に8年度について上振れするわけではないんですね。

(大谷所長) そうですね、こちら計画立てた令和5年度末に立てたところでしたので、次の10期計画でどういうふうに目標指数を設定していくかっていうところになっていくかと考えております。

(菅原委員) はい、ちょっとわからないところあるんですけど、それから7ページですね、みまもりシールなんですけど、先ほどちょっとお話しもありましたけど、市の方から行方不明者の検索するメールがたまに届くんですが、これだと、1人の方は続けて2回ほどですかメールが届きました。こういった方には警察署との連絡っていうか、このシールをどういうふうにされてるとか、フォローはされてるんですか。

(大谷所長) そうですね、警察の方にこの間発動していただいたところもあるんですが、それとは別に、行方不明になる可能性もある方に関しては、警察で行方不明なるかもしれ

ないということでSOSネットワークの登録というのも一つお勧めしております。

あと、本市の高齢者見守り支援事業のシールの登録、いずれも両方登録していただくことをお勧めしております、なお、そういう案件が出たときにはもちろん連携して実施の方をしているところでございます。

(菅原委員) 何かですね、GPSとまでは言わなくとも、こういうふうにしょっちゅう行方不明になると、シールの効果が出てないと思うんですよね、だから、なんか、どういう方法かでわかるようなシステムを、そこで、こう進めていただくとかしていただいて、しょっちゅう、おそらく不明なってる方が多いんだと思うんですよね、そういう対応を一つよろしくお願ひしたいと思います。

(大谷所長) はい。みまもりシールに関しては、GPS機能がついておらず、本当にお洋服に貼るシールになってます。富谷市と書いているQRコードが、こう表記されて、洋服にアイロンで貼るシールなんです、そういったものでしたので、おっしゃるようにGPS機能はついておりません。

一方でGPSの方ですね、介護保険のサービスの方でちょっと実費負担をいただくんですけどもそういったサービスもございますので、このようにちょっとリスクのある方に関しては、介護保険のそういったサービスの方も合わせてお勧めを強くしているところでございます。市の方としても、この一つの対応でリスクが管理できるかっていうと決してそうは考えておりません。様々な対策を練ってリスクを下げていくことが非常に重要であると考えておりますので、今後も引き続きそういった方が、行方不明に、なんていうんですかねやはり認知症の方もこうして、あーしていきたい、という思いがありますので、そういった思いとかも尊重しながら、ただ安心して安全に過ごせるような対策の方を引き続き考えて進めて参りたいと考えております。

以上でございます。

(那須委員長) よろしいですか。

(渡邊委員) はい。

(那須委員長) どうぞ。

(渡邊委員) 実体験なんですけれども、私の母がやはり認知症で、自宅に同居してて、どうしても私達が気づかないうちに出て、お世話に、4、5回なりました。GPSの携帯をちっちゃいやつを、母親が外に出る時も持って行く、かばんとか入れたんだけど、そういう時に限って持って行かないわけですよね、とにかく苦労したんですけれども。そんな感じで、なかなか手足が自由で認知症だけで、しかも外に出る意欲がある、夜も寝てられないっていう感じでしたけど、私自身もこんな介護に多少かかわるような仕事してるんで考えましたが、なかなか厳しいです。

(大谷所長) ありがとうございます。あと、今年度から安心安全メールの方ですね、そういったことがありましたらご家族のご希望にはよるのですがそういった周知をさせていただいております。

体制は昨年度から整えたところであるんですが、幸いにもそういったことが発出する前に見つかったりとかってということで、発動をしたのが今年度からになります、住民の皆さんや関係者の皆さんにもぜひ登録をいただいて、災害時のみならずですねこういったことにも少しご協力の方だったり、地域の中で見守っていただけますと、非常に幸いでございます。

よろしく願いいたします。

(那須委員長) ほかにございますか、はいどうぞ。

(吉村委員) SOMPOケア富谷の吉村と申します。私日頃、居宅介護支援のケアマネージャーということで、在宅のケアマネージャーをさせていただいておりますけど、要支援クラス、認知症のかたを、支援してるご家族様だったり、ご本人様だったり、携わらせていただいている中で、やはりご苦労、大変だなというのも日々感じておりました。

先ほど大谷さんが仰ったような、介護保険のサービスでも何か、そういったものっていうふうになると、何かセンサーをちょっと下に置いて、そこを通ったら、ピンポンと鳴ったり、音楽が鳴ったりという、いろんなものはございますが、渡邊先生がおっしゃったように、なかなかそこを通り抜けたりとか、うまくこう家族さんが気付ければいいんですけども、本当に難しいなっていうところが現状でございます。はい。

あとは、また認知症の家族会なんかに参加をさせていただきますと、本当に皆さん日々、大変な思いをされて、生きる、生活されているなあというところで、なか

なか本当に私もこの仕事に携わって何かいい策はないかなと、うん、日々ちょっと考えているところもありました、なかなか難しいとは思いますが、業者さんによってはそのGPS ちょっと小さい物なんですけど、お守りの中に入れて、そのお守りを必ず持って歩く、杖に付けたりとか、そういった方もいらっしゃる、いたので、新たなそういった市のほうで検討していただくと、より住みやすい町にならないかなあと思いました。

以上です。

(那須委員長) 貴重なご意見ありがとうございます。次の審議、(4)「高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」実態把握調査について、事務局からご説明をお願いします。

(横田課長) < 資料4 「高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」実態把握調査について >

(那須委員長) はい、ただいまご説明いただきましてありがとうございます、これに関しまして、特によろしゅうございますか。

(江角委員) 調査内容のことなんですけれども、①、②、⑤と市独自のものっていう話でうかがったんですけど、③、④を除く理由というのは一応お聞かせいただけると嬉しいなと思います。よろしくお願いします。

(横田課長) 4ページの方で国で示すアンケート調査の例ということで、5項目ほどございます。大きく国のページの部分がかなり細分化されておりまして、③、④の部分に関しましては本市では、⑤の人材調査の中で、事業所を拡大して③、④の内容を聞くような形でまとめるというようなイメージでございますので、全てになりますと、5項目それぞれアンケート調査になるんですが、かなり膨大な量になっておりますので、一部③、④の項目を⑤に入れる形で踏襲した形でございます。

(江角委員) ありがとうございます、よくわかりました。

(那須委員長) その他。

(亀補佐) その他といたしまして、参考資料1 富谷市高齢保健福祉計画・第9期介護保険事業計画、参考資料2 として富谷市内介護保険事業所一覧をまとめてございますので、後ほどご一読いただければと思います。

なお、次回委員会については、10月3日金曜日を予定してございます、また近くなりましたら通知いたしますのでよろしくお願いいたします。その他としましては以上でございます。

(那須委員長) 予定された議事すべてに、ご承認をいただきました。それでは事務局に進行を事務局にお返しいたします。

(亀補佐) 委員長、円滑な進行、ありがとうございました。また、委員の皆さま、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。以上で、令和7年度第1回富谷市介護保険運営委員会を終了いたします。大変お疲れ様でございました。

< 閉会 > 午後3時6分